

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都港区高輪 1-5-38
園名	ミアヘルサ保育園ゆらりん高輪

1 活動のテーマ

<テーマ>

感情

<テーマの設定理由>

5歳児が入園してきた際、コロナウィルス感染症の発症・流行によりマスクの着用が必要となり、表情や感情を汲み取ることが難しく、他児との距離も制限され、幼少期に築かれるべきはずであった他者との関わり、コミュニケーションの不足に繋がっているのではないかと感じた。この活動を通して、自分の感情と向き合い、感情を整理する方法を見つける手がかりになるのではないかと感じた。特に喜怒哀楽に着目し、自分の感情の表現の仕方を様々な体験を通じて身に付けていけたらと思う。活動を重ねることで幼児クラス、特に5歳児の子どもたちがポジティブで前向きな思考や発言の探索につながるのではないかと考える。

2 活動スケジュール

7月10日 感情とは何かについて知る。
7月11日 感情とは何かについて知る。
8月6日 「喜び」について知る。
8月8日 「喜び」について知る。
9月12日 「怒り」について知る。
10月3日 「哀しみ」について知る。
11月28日 色で自分の感情を表現してみよう。
12月4日 自分自身の感情を表現したTシャツ作りをする。
12月24日 制作したTシャツを着て自己表現を楽しむ。
2月14日 せいかつ発表会で保護者に披露する。

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

台本、大道具、衣装、制作したTシャツ

4 探究活動の実践

<活動の内容>

感情について学んできたことをせいかつ発表会で家族や先生に観てもらおう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

感情についての導入で使用した映画「インサイドヘッド」をきっかけにせいかつ発表会でもインサイドヘッドを題材にした活動を行った。担当保育者が子どもたちの気持ちや思いを丁寧に聞き取りながら、それぞれ表現したい「好き」を台本や衣装、道具等に取り入れ、子どもたちと共に内容を作り上げていった。

すくわくプログラム時に制作した感情を表現した T シャツを着用し、HIPHOP を踊って披露した。

自分の感情を表した衣装を身に付け、保護者の前で披露する経験を通して、子どもたちは達成感や自身を感じる姿が見られた。

5 振り返り



<振り返りによって得た先生の気づき>

劇の中で自分の好きなものを取り入れたり、子どもたち同士で作りに上げていく楽しさを味わうことができ、表現することの楽しさや、友だちと協力して一つのものを作り上げることを感じ喜ぶ姿が見られた。またこの一年の中で心に残っている出来事を振り返りながらストーリーを考えることで、楽しかった思い出を子どもたちだけでなく保護者とも共有することができた素敵な劇となった。

感情のキャラクターを一人ひとりが演じることで様々な感情があること、それぞれの感情が大切であることに気付くことができたのではないかな。

今後も様々な表現活動に取り組み、友達や保育者との関わりの中で感情を理解する経験を積み重ねていけるように関わっていききたい。